

春季彼岸会(3月18~24日)の期間中、「東日本大震災被災者支援の集い」が厳修されました。「支援の集い」で集まりました義援金は東本願寺に送りまして、そこから被災者のもとへ届けます。

旭川別院では救援金箱を設置しており、更なる呼びかけをしていきたいと思っております。ご協力お願い申し上げます。



別院しらべ隊

調査報告書No.15 超えていくもの

呼・応

2011年3月11日、マグニチュード9を超える大地震が東日本を襲いました。津波は街を飲み込み、死者・行方不明者が未だ増えています。気仙沼も被災した街の一つです。

気仙沼は旭川別院の本堂・大門を設計しました花輪喜久藏師の故郷です。花輪喜久藏師の流れを受け継いでいる気仙大工の方々が今回の旭川別院本堂等改修工事に参加くださる予定でしたが、東日本大震災において事務所が倒壊し、木材加工所も電気が止まっている状況のため、旭川別院本堂等改修工事には参加できないと連絡がありました。しかし、3月末日、再び気仙大工の方から連絡がありました。なんと、旭川別院本堂等改修工事に数名ではありますが携わってくださるというのです。

災害に遭いながらも、気仙や私たちの先達が残した旭川別院本堂の改修に携わっていただく熱い想いに、唯々感謝の言葉しか出てきません。

今回の東日本大震災において、旭川別院では救援金箱の設置・別院内数カ所の部屋を被災者受け入れの部屋とさせて頂いています。ご協力お願い致します。

旭川別院職員・ご門徒・工事関係者一丸となって旭川別院本堂等改修工事に携わっていきたいと思います。

記帳書の提出はお済みですか？

昨年10月にお送り致しました封書の中に記帳書を同封してあり、本年1月中旬に提出をお願いしていました。記帳くださった方々には感謝申し上げます。

しかし、まだ検討中の方々にも記帳書の提出をお願い致します。全ご門徒の方々より記帳書をいただかなければ工事の目処が立ちません。改修が縮小されるかもしれません。

ご門徒全員が一丸となって本堂等改修を目指していきたいと、お願い申し上げます。

2011年4月15日作成
調査員：草部・垣原・横井よ・長尾・高橋

旭川別院本堂等改修工事進行状況



機械や人の手で先ずは除雪



本堂の内部にも目隠しの壁が…



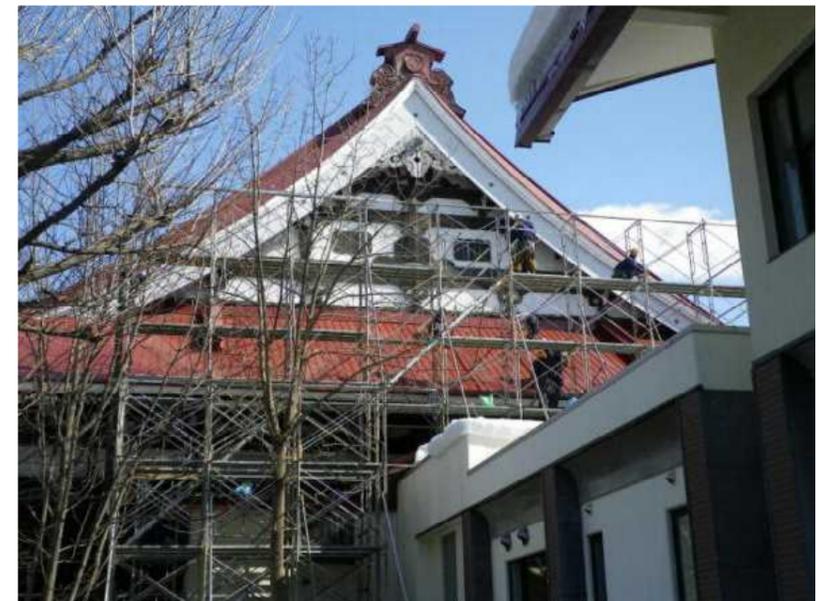
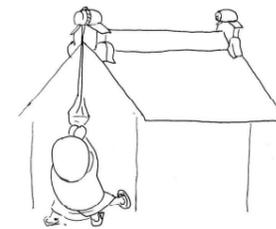
入念な事前調査によって



壁がはがされました。



本堂の屋根の上にまで足場ができました。



大門に足場ができて、いよいよ工事が進んでいきます。